

新生「本宮市」に望む

市民からの提言



渡辺淑子さん
(和田字南)

親しく交流できる環境づくりを

市となって特に変わったことはありませんが、「村」と呼ぶことがなくなっただけで、対外的にはちよつとうれしいです。
市にお願いしたいことは、それぞれに行われていた夏祭りなどの行事

やイベントは残してほしいということです。敬老会なども地域ごとに実施していますが、こうした地域に密着した行事はこれからも大切にしていただきたいと思っています。
現在、私は地元の婦人会に所属し、公民館分館の清掃活動などボランティアをおして地域の人たちと親睦を図っています。市となり規模が大きくなっても、人の交流はとて大切でです。市でも、親睦を図れるような環境づくりをお願いしたいです。
合併したばかりです。今こそ「和」が一番大切なときだと思います。



小林晴男さん
(岩根字苗代田)

スポーツをとおして人が育つ市に

私は、野球をはじめ運動することが大好きです。白沢さんでは、以前からスポーツが盛んと聞いていますので、ぜひスポーツをとおした交流が図れればと思います。自分の子どもは高校の野球部でしらすわぐりー

ンパークを利用したことがあります。が、私も野球をしていますので、これからは利用したいと思っています。
新市に対しては、まずまずスポーツが盛んになるよう、指導者の育成に力を注いでいただきたいと思っています。そして、箱根駅伝や甲子園で活躍するような選手が1人でも多く育てば、市も有名になるし素晴らしいことだと思っています。「スポーツをしている子どもにも悪い子はいない」。子どもの健全育成にも大きな役割を果たします。
できれば、岩根地区にもスポーツ施設が充実できれば最高です！

本宮町と白沢村が合併し「本宮市」となって1ヶ月がたちました。

それぞれに長い歴史と伝統、文化、産業を持ち発展してきた町と村が、およそ3年の歳月をかけて協議し誕生させた本宮市。「本宮市まちづくり計画」では、本宮市の将来像を「水と緑と心が結びあう未来に輝くまちづくり」としています。そして、まちづくりの基本目標を次の5項目としています。

- ◆豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり
- ◆住民と行政の協働による自立したまちづくり
- ◆共に支えあうやさしいまちづくり

◆活力あるふるさとのまちづくり
◆安全・安心な環境のまちづくり
これからは、これらの基本目標にそって具体的な施策が展開されていくこととなります。

市民の皆さんにとっては、まだまだ市に変わったということに実感がわかないかもしれませんが、住み慣れた町、村から市へと変わり、それぞれに市に対して、期待するものをお持ちのことと思います。

今月は、本宮市の誕生という歴史的なできごとの感想やこれからの市政に対して望むことなど、一市民としての率直なお話を伺ってみました。